

## 野々市市自殺対策計画(案)パブリックコメントのご意見と野々市市の考え方について

野々市市自殺対策計画の策定にあたり実施いたしましたパブリックコメントの結果について、お寄せいただきましたご意見等の概要と、それに対する当市の考え方を取りまとめましたので公表します。

- 1 募集期間 平成 31 年 2 月 8 日（金）から平成 31 年 3 月 8 日（金）まで
- 2 意見提出者数 2 名
- 3 意見等数 5 件
- 4 意見等の概要及び野々市市の考え方

番号	項目又はページ	ご意見等の概要	野々市市の考え方
1	18 ページ	計画の推進にあたり連携、協働すべき関係機関とはどんな機関か明示した方がよい。	計画を推進するため施策に位置付けた事業について、それぞれ担当課を明記するとともに、資料編には相談窓口の一覧、協議会委員の所属機関等を掲載しております。
2	18 ページ	自殺対策協議会や自殺対策庁内連絡会でどのような提言や対策が話し合われたのか。その内容を公表しないと計画の進展が期待できない。	自殺対策協議会では、既存の様々な取組み自体が、広く自殺予防に寄与していることを確認し、計画においては目標達成に向けた 5 の基本施策と 4 つの成果指標を設定しております。今後は庁内横断型の連絡会において、成果指標の進捗状況を確認し、自殺対策協議会に報告のうえ、施策進展に向けた取り組みを検討してまいります。
3	22 ページ	市民カウンセラーとゲートキーパーの役目の違いは何か。市民カウンセラーの資格と対象者をどのように位置づけしているのか明示した方がよい。	市民カウンセラーとは、当市の「市民カウンセラー連続講座」の受講者で、身近な悩みの傾聴や相談に応じることができる人です。ゲートキーパーは自殺の危険を示すサインに気づき、適切な対応を行える人としております。それぞれが地域における自殺防止の担い手として考

			<p>えております。</p> <p>計画 22 ページに市民カウンセラーについての解説を追加いたしました。</p>
4	23 ページ	<p>健康に関する知識の啓発とは、誰がどの対象に啓発をするのか。</p> <p>キャンペーンや本の推奨で効果が期待できるか疑問。</p>	<p>市民を対象として、健康に関する知識の啓発については、健康推進課でこころの健康教室を開催しております。</p> <p>また、国においても自殺予防週間や月間を設けて全国的な取組みを推進していることから、当市においてもこれらの様々な機会を捉え自殺の防止に向けた取組みを進めます。</p>
5		<p>自殺者は「経済問題」、「健康問題」、「家庭問題」、「職場問題」の4つの理由が多いそうだ。</p> <p>自殺対策には経済問題の支援が自殺者を救う早道ではないか。</p> <p>悩んでいる人には「心理学者」など専門家が当たるべきで、市民が手に負える問題ではない。「家庭・職場問題」は人間関係が絡むことから、大いに議論すべきと考える。</p>	<p>経済面の支援は自殺防止の重要な対策の一つであり、個々の状況に応じ、助成、貸付など適切な支援制度の周知に努めています。</p> <p>また、悩みを抱えた相談者の多くは、まずは身近な家族や友人などに相談することにより、周囲がいち早く心身の変調に気づくことが、想定されます。今後も悩みを打ち明けられた方が、適切な専門機関等の相談先を紹介できるよう、市民カウンセラーの養成と養成講座の周知に努めます。</p>